

三洋化成 ニュース

2020年
新春
No.518

01 きのこの森から・vol.11

広大な樹海と無数の沢
阿寒湖南部のきのこの森
新井 文彦

05 京を歩けば・352

伊根を歩く

ジェフ・バーグランド

07 植物 そのがんばる生き方・vol.5

厳しい寒さのなかで、
緑に輝き続けるために、
努力する!

田中 修

09 サンヨー・プロダクト・トピックス

すばやく止血して命を守る機能

活躍する三洋化成グループの
パフォーマンス・ケミカルズ・112

ポリエチレン系フィルム・
シート用帯電防止剤

中村 泰司

12 まど

子どもたちには感性
豊かに育ってほしい

多胡 小未

13 Sanyo Interview・255

経験を糧に、
世界で戦う選手を支えたい

小椋 久美子

19 サンヨー・ニュース・カセット

21 ドリンクの力・vol.11

日本酒

山上 昌弘





子どもたちには感性豊かに育ってほしい

木のおもちゃ作家・木のおもちゃarumitoy 代表

多胡 歩未

「子どもたちには感性豊かに育ってほしい」。これが理想論ではない環境にならないかなあ。ということとを日々考えています。

今の子どもたちと関わり続けるなかで、圧倒的に感じるのが、言われたことはきちんとしてくれる。けれど

も「好きにしていよ」と言われると固まってしまふ子が本当に多いということ。正解のないことがらに對して、「自分で考える」という作業に慣れていないのだなあと思います。
私は木のおもちゃを作っています

すが、遊び方は無限大だと言っています。こちらが想定した遊びはもちろんありますが、それを越えた遊びを繰り出すのが子どもの仕事なのだと思っていて、その瞬間を見たくてやっているといっても過言ではありません。



子どもは誰でも想像力を持ち合わせているというのが私の持論です。その想像力を大人になっても持ち続けると、それまでに身につけた知識とのかけ算で、とつても面白い人生にできるはずなのです。

私自身子育てをするなかで、口うるさい母親ですが、子どもの想像力だけは邪魔しないということとを心がけています。自分で考えられる子に育ってほしいので、その考え方が合っても間違ってもまず尊重します。私の目線から見て、それはどうなんだろう……？と思うことも、「なぜそう考えるの？」と聞くと、自分なりに考えた過程を教えてくださいます。だからその答えが導き出されたのだと納得できます。空想したことを口に出した時も、茶化したりしないで、「そんなこと考えたんだー！めちゃくちゃ面白いねー、それでどうなるの??」と乗ってあげると「自分で考えた話」をするのを恥ずかしがらなくなります。

「考える力」すなわち想像力を一番育んでくれるのは、なんといつても自然の中で過ごす時間だと思っています。自然の中で遊ぶには想像力がないと楽しく遊べません。切り株や葉っぱ、水、生き物。黙って突っ立っていてもそれらは遊んでくれません。

今、身近な取り組みとして、近所の森で小学生と遊んでいます。火おこしから始めて、1日をどう過ごすのか自分たちで決めます。もちろんお昼も自分たちで作ります。大人は相談されたらやり方を教えてあげるというスタンスです。

自分で考えて行動する。森の活動でいつも思うことは、子どもって、それがやりたい生き物なんだなあということ。そのまま大きくなったら、AIなんて関係ないなど。

自分で考えたことをまろくし立てている時の子どもの目は本当にキラキラと輝いてるんです。その芽を育てるのは大人の役目です。まずは一言、「面白い！なんでそう思うの!？」と聞いてあげてみてください。



あゆみ 1978年生まれ。大阪府加茂市でarumitoyをオープン。2014年「クォーター親子」、2017年「スレンダー・ブロック」がグッドトイ受賞。